

平成23事業年度

# 決算報告書

(第8期)

自：平成23年4月 1日

至：平成24年3月31日

国立大学法人岡山大学

## 平成23年度決算報告書

国立大学法人岡山大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	18,692	18,704	12	(注1)
施設整備費補助金	927	663	△ 263	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	1,116	1,161	45	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	79	79	0	
自己収入	33,724	35,008	1,284	
授業料、入学料及び検定料収入	7,593	7,568	△ 24	
附属病院収入	25,728	26,899	1,171	(注4)
財産処分収入	—	0	0	
雑収入	403	540	137	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,019	4,351	332	(注6)
引当金取崩	340	249	△ 90	(注7)
長期借入金収入	2,806	1,101	△ 1,704	(注8)
貸付回収金	4	4	0	
目的積立金取崩	—	19	19	(注9)
計	61,707	61,342	△ 364	
支出				
業務費	50,273	50,896	623	
教育研究経費	23,432	23,487	55	
診療経費	26,841	27,409	568	(注10)
施設整備費	3,812	1,843	△ 1,968	(注11)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	1,116	1,183	67	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,014	3,707	△ 306	(注12)
貸付金	10	43	33	(注13)
長期借入金償還金	2,482	2,452	△ 29	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	61,707	60,128	△ 1,578	
収入-支出	0	1,214	1,214	

## ○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算額に前年度からの繰越額のうち使用見込額107百万円を含んでいるが、使用額が119百万円であったため、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金収入については、工事契約締結による契約額減少により、予算額に比して決算額が263百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金の増加により、予算額に比して決算額が45百万円多額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、患者数の増加等により、予算額に比して決算額が1,171百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として預金利息収入等により、予算額に比して決算額が137百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の増加等により、予算額に比して決算額が332百万円多額となっています。
- (注7) 引当金取崩については、人件費削減による決算額の減少等により、予算額に比して決算額が90百万円少額となっています。
- (注8) 長期借入金収入については、工事契約締結による契約額減少により借入額の変更(減少)が生じたため、予算額に比して決算額が1,704百万円少額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった前中期目標期間繰越積立金の執行により、予算額に比して決算額が19百万円多額となっています。
- (注10) 診療経費については、患者数の増加等により、予算額に比して決算額が568百万円多額となっています。
- (注11) (注2)(注8)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,968百万円少額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄付金事業の執行が予定より少なかったこと等により、予算額に比して決算額が306百万円少額となっています。
- (注13) 貸付金については、今年度より新たな奨学費貸与事業を開始したため、予算額に比して決算額が33百万円多額となっています。

○ 損益計算書と決算報告書の集計区分の差異について

- (1) 損益計算書では、長期借入金収入は負債の増加であるため計上されていませんが、決算報告書では収入として計上されています。
- (2) 損益計算書では、人件費は役員人件費、教員人件費及び職員人件費に計上されていますが、決算報告書では、財源により業務費と産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (3) 損益計算書では、寄附金及び間接経費を財源とする費用は業務費の各区分に計上されていますが、決算報告書では、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に計上されています。
- (4) 損益計算書では、長期借入金償還金の元本の返済部分は負債の減少であるため計上されていませんが、決算報告書では支出として計上されています。また損益計算書では、長期借入金償還金の借入利息は財務費用の支払利息として計上されていますが、決算報告書では、長期借入金償還金に計上されています。